

学力向上に効果のある取組事例

中津市立 南部小学校

主体的に学習に取り組む態度の涵養

みんな活躍授業の推進

・学習リーダーを活用した課題解決的な授業

算数科を中心に、学習リーダーが進行する授業を日常的に行っている。高学年では、課題づくりや考察を学習リーダーが中心となって進めることができるようになってきている。また、算数以外の教科でも、学習リーダーが進行する授業を行う取り組みを進めている。授業中の教師の出番を極力減らした「セルフ授業」にもチャレンジしている。

・児童との単元学習計画の共有

児童が単元全体の流れを把握し、次時の学習への見通しを持つようにする。特に学習リーダーは次時の予習を行う姿が見られるようになっている。

・適切なキーワードの設定

児童が見通しを持って授業に取り組めるように、キーワードを工夫している。学習リーダーが中心となり、キーワード使って考察の場面の話し合いやまとめを行っている。(高学年)



単元名		割合をグラフに表して調べよう	
月日	時間	めあて	
1月15日	1	割合をグラフに表そう。	P84、85、86
1月18日	2	帯グラフや円グラフの持ちようを調べよう。	P86、87
1月20日	3	帯グラフや円グラフをかこう。	P87、88、89
1月21日	4	グラフあら読み取れることを考えよう。	P90
1月22日	5	今までの学習の中で解決方法を振り返ろう。	P91
1月25日	6	生活の中に生かそう①	P92
1月26日	7	生活の中に生かそう②	P93
1月27日	8	たしかめよう。	
1月28日	9	マイスターデー：分からないところをなくそう！	
1月29日	10	テスト：ミスをなくして100点を目標そう！	

お互いに学び合う態度の醸成

・話を聞く態度の徹底

相手意識・目的意識を持たせるために、話を聞く人は鉛筆を置いて体を向ける、発表する人は「言います」などみんなの注意を喚起してから話し始めることに取り組んでいる。

・ぶらぶらタイム

自力解決で困っている場合は、教室を自由に動き、自主的に友達の考えを聞きに行く態度を養うとともに、聞きに来た友達に自分の考えを進んで説明する機会を設けている。

・MK(みんな学ぶ)タイム

ペアや班での学びで考えをまとめるための話し合いの場を設けている。その後の全体の場での発表を意識し、分かりやすい説明ができるよう班で協力しあうようになってきている。

・視点をはっきりさせた具体的な振り返り

自分の学んだことや友達の考えの良い点、これから学びたいことなどを、具体的に書き、交流している。学習の中で学んだことを言語化するとともに、友達の考えに共感したり自分の成長を意識したりするようになってきている。

